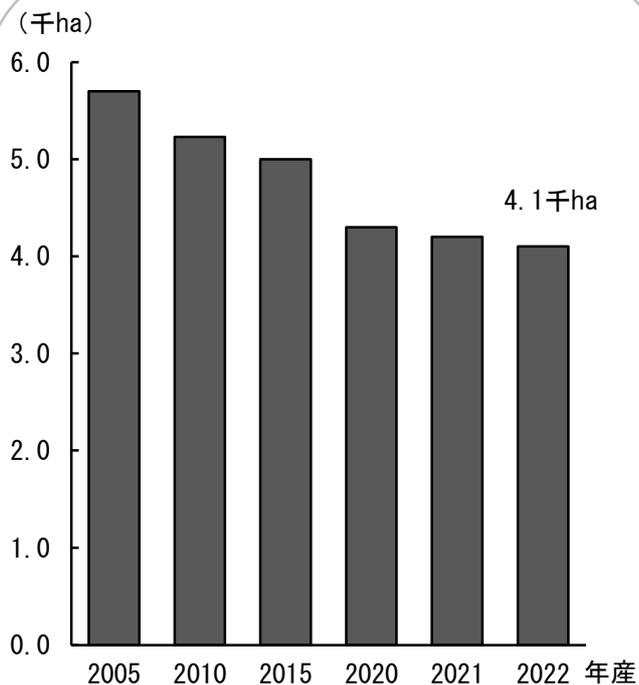


# 果 樹

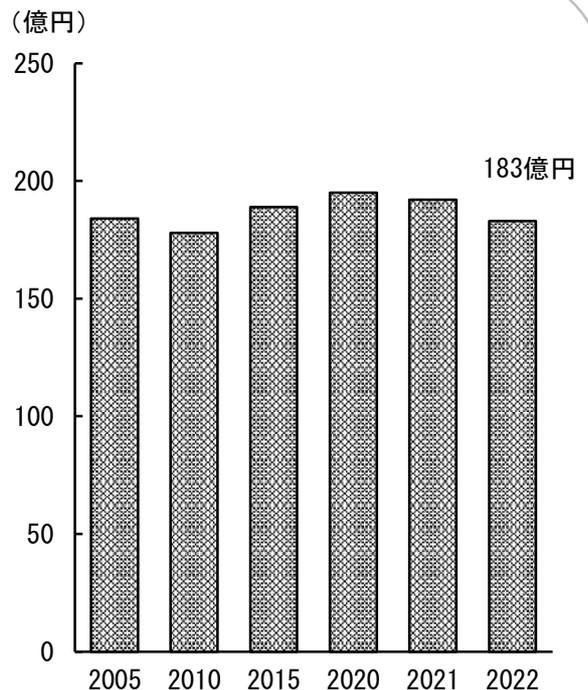
## 《果樹栽培面積の推移》



(出典：生産農業所得統計及び特産果樹生産動向調査)

近年、栽培面積は、微減傾向にある。

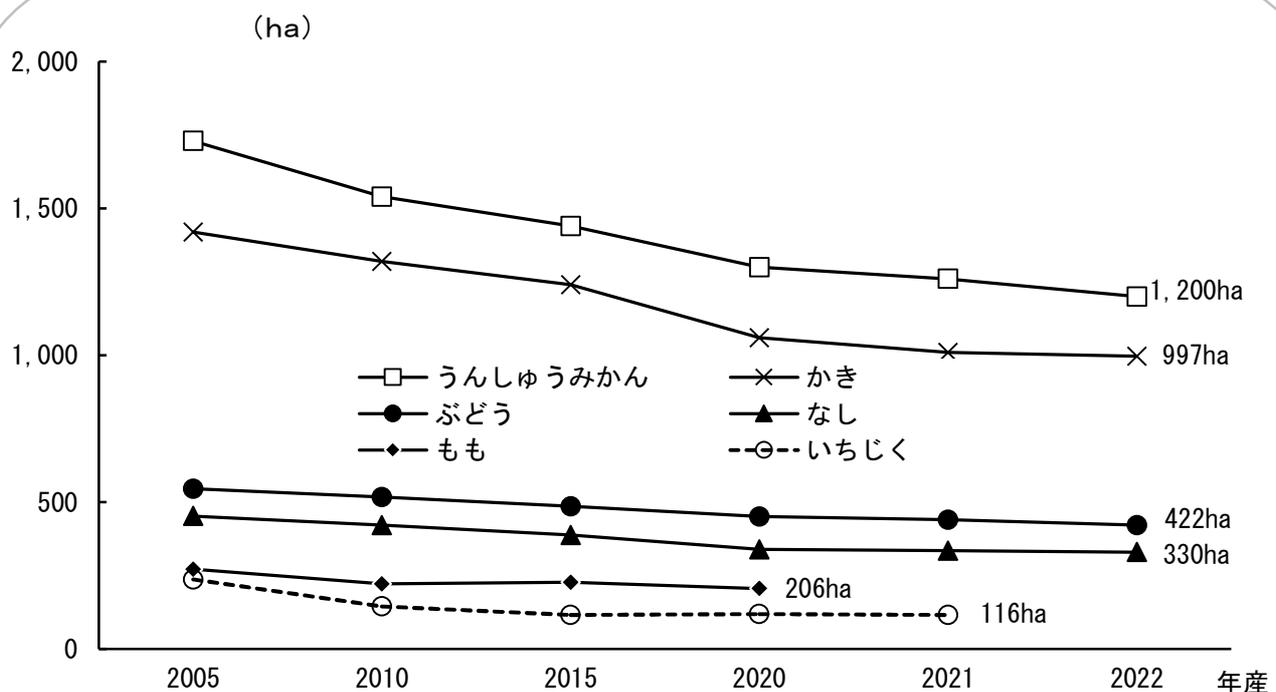
## 《果樹産出額の推移》



(出典：生産農業所得統計)

2022年の品目別の産出額は、「うんしゅうみかん」79億円、「ぶどう」32億円、「日本なし」15億円、「かき」26億円、「もも」9億円、「いちじく」13億円となっている。

## 《果樹の主要種類別栽培面積の推移》



(出典：「いちじく」の2005年は東海農政局統計部生産流通消費統計課調べ、2010年以降は特産果樹生産動態調査)

昭和から平成にかけて「うんしゅうみかん」の栽培面積が大幅に減少したが、平成に入ると栽培面積に大きな変動はない。主要種類別の栽培面積は「うんしゅうみかん」が1,200haで最も大きく、次いで「かき」が997haとなっている。

「もも」の栽培面積は2021年、2022年は非公表。